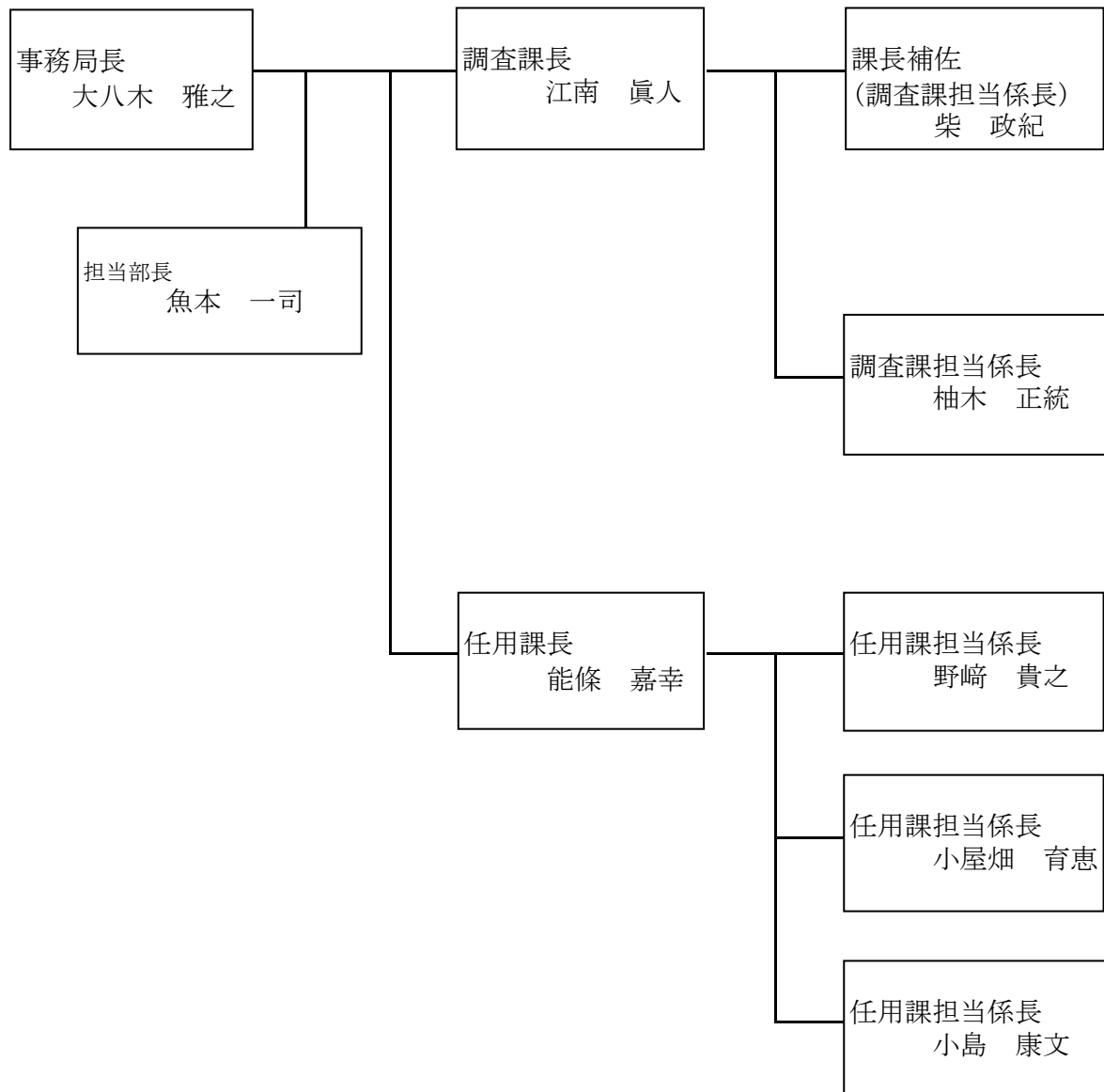


機 構 及 び 事 務 分 掌

平成 26 年 5 月
人事委員会事務局

人事委員会事務局機構図

(平成26年5月14日現在)



事務分掌

調査課

- 1 人事委員会の委員及び委員会の議事に関すること。
- 2 人事行政制度に関する総合的な調査研究及び企画立案並びに勧告及び意見の申出等に関すること。
- 3 地方公務員法（昭和25年法律第261号。以下「法」という。）第4条に規定する職員（以下「職員」という。）の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する制度の調査研究並びに勧告及び報告等に関すること。
- 4 職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分についての不服申立てに関すること。
- 5 職員の苦情の処理に関すること。
- 6 法第52条第1項に規定する職員団体の登録等に関すること。
- 7 労働基準監督機関の職権行使に関すること。
- 8 退職手当の支給制限等の処分についての調査審議に関すること。
- 9 事務局内の人事、文書、予算及び決算に関すること。
- 10 他の課の主管に属さないこと。

任用課

- 1 職員の任用制度に関する調査研究及び企画立案に関すること。
- 2 職員の採用試験の立案及び実施に関すること。
- 3 職員の昇任試験及び転職試験の立案及び実施に関すること。
- 4 職員の採用及び昇任の選考に関すること。
- 5 その他職員の任用に関すること。

平成 26 年度

予 算 説 明 書

人事委員会事務局

目 次

平成 26 年度一般会計歳入予算説明	1 頁
平成 26 年度一般会計歳出予算説明	1 頁

平成 26 年度 一般会計歳入予算説明

科 目	本年度予算	前年度予算	差引増△減	説 明
22款 諸収入	千円 41	千円 41	千円 0	
5項 雑入	41	41	0	
1目 総務費雑入	30	30	0	
(1) 広告料収入	30	30	0	ホームページ広告料
15目 雑 入	11	11	0	
(2) 社会保険料 納付金	8	8	0	アルバイト雇用保険本人負担分
(3) その他	3	3	0	昇任試験託児サービス利用者負担金
歳 入 合 計	41	41	0	

平成 26 年度 一般会計歳出予算説明

科 目	本年度予算	前年度予算	差引増△減	説 明
2款 総務費	千円 232,055	千円 240,915	千円 △ 8,860	人事委員会及び人事委員会事務局の職務執行に要する経費
6項 人事委員会費	232,055	240,915	△ 8,860	千円 委員報酬（委員3人） 13,128
1目 人事委員会費	232,055	240,915	△ 8,860	人件費（職員22人） 162,433 運営費 56,494
歳 出 合 計	232,055	240,915	△ 8,860	

平成26年度 人事委員会事務局 運営方針

いきいきと活気あふれる組織づくりを目指して

I 基本目標

～組織は「ひと」が基本との視点に立って、組織を支える人材の確保と適正な人事給与制度のもとで、人事行政の専門機関として、職員が意欲を持っていきいきと働くことができる組織づくりを支援します。～

II 目標達成に向けた施策

1 人事行政の専門機関としての機能発揮

適正な人事行政が確保されることによって、市民の皆さんから理解・信頼され、また職員もいきいきと働くことができるよう、人事行政の専門機関として人事・給与制度について調査・研究し、勧告・報告を行います。

また、任命権者から独立した第三者機関として、審査請求に対して公平・公正に対応します。

2 人材の確保からキャリア育成まで、試験・選考を通じた組織活力の向上

民間企業の採用意欲が高まる中、積極的、戦略的に横浜市で働く魅力を発信し、意欲の高い優秀な人材を幅広く集めて選抜し、本市が求める人材を確保します。

係長昇任試験・昇任選考及び専任職昇任選考などを適正に運用し、自ら率先して昇任し活躍しているという職員の意欲を引き出すとともに、組織活力の向上を図ります。

これらの取組について、様々な方法により庁内外へ情報を発信します。

3 国における給与制度の総合的な見直しに合わせた本市給与制度の検討

平成19年度に制度改正した人事給与制度について引き続き任命権者と検証を進めるとともに、国で検討を進めている給与制度の総合的な見直しに合わせ、本市の状況を踏まえた検討を進めていきます。

III 目標達成に向けた組織運営

いきいきと輝いている職員を育てる

受験者は、いきいきと輝いている職員に憧れます。全職員が見られていることを意識し、自分自身を高め、受験者がともに働きたいという想いを抱くような魅力的な職員となり、横浜の魅力を発信します。

時代の要請に応える視点を持つ

時代はどのように流れているのか、民間の動向は、将来の社会の変化は、市民の皆さんは何を感じているのか、といった視点を持って業務に取り組んでいきます。

公平・公正・中立な運営

専門的かつ中立的な、任命権者から独立した第三者機関としての役割を的確に果たすため、公平・公正・中立であることを常に念頭において仕事を進めます。

一流のプロの職員を育てる

人事給与・公平審査に関する専門機関としての役割を担っていることについて、職員一人ひとりがかかりと自覚し、自ら目的意識をもって研さんを積むことを通じて、一流のプロの職員の育成に取り組めます。

1 人事行政の専門機関としての機能発揮

【主な事業・取組】

- 給与に関する報告・勧告に向けた取組
 - ・ 民間及び職員の給与実態を把握し、報告(勧告)を行う。
- 人事給与制度に関する見直しに向けた検討
 - ・ 給与制度について、国の動向を踏まえ必要な対応を検討する。
 - ・ 再任用職員の給与水準及び高齢期職員の処遇等の方向性について、国及び民間等の動向を踏まえ報告等を行う。
 - ・ 人事給与制度についての見直しについては、引き続き任命権者との検討を進める。
- 公平審査の迅速・適切な処理
 - ・ 係属中の案件及び新規案件を迅速・適切に処理する。

【内容】

⇒給与に関する報告(勧告)(10月以降)

⇒人事給与制度に関する報告等(10月以降)

⇒実施(通年)

2 横浜市の将来を支える優秀な人材の確保

【主な事業・取組】

- 横浜市職員として働く魅力が伝わる広報を戦略的に展開
 - ・ 採用ホームページを魅力あるものに更新
 - ・ 合同企業説明会への出展、就職セミナーの開催
 - ・ 大学が主催する就職説明会への参加
 - ・ 高専訪問による就職説明の実施
 - ・ 土木、建築職を対象とした現場見学会の開催
 - ・ 魅力あるメルマガの発信
- 各種採用試験・選考の公正かつ効率的な実施
 - ・ 横浜市職員(大学卒程度)採用試験(土木先行実施枠)
 - ・ 横浜市職員(大学卒程度等)採用試験
 - ・ 横浜市職員(高校卒程度・免許資格職など)採用試験
 - ・ 横浜市職員(社会人)採用試験
 - ・ 身体に障害のある人を対象とした横浜市職員採用選考
 - ・ 横浜市育児休業代替任期付職員採用選考

【内容】

⇒広報活動の実施(通年)

⇒実施(～2月)

3 職員のキャリア形成を通じた組織活力の向上

【主な事業・取組】

- 係長・消防司令昇任試験・昇任選考及び専任職昇任選考等の適正な実施
 - ・ 昇任試験・昇任選考等を公平・公正・着実に実施する。
- 昇任意欲向上のための受験勸奨の実施
 - ・ YCAN等を活用した、機会を逃さぬ情報提供や受験勸奨の働きかけを行う。

【内容】

⇒実施(～12月)

⇒実施(通年)